

令和元年度 指定管理者施設管理評価シート

		<b>部課名</b>	福祉部高齢福祉課	
<b>施設名称</b>	9 東京都台東区立うえの高齢者在宅サービスセンター	<b>指定管理者</b>	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	<b>指定期間</b>	H28. 4. 1	～ R3. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区東上野2-25-14 [規模] 延べ床面積 2,130.8㎡の内330.78㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち3階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）、②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員30名） [自主事業] なし
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（1月1日・2日を除く） 8時30分から17時15分
(6)	[人員体制] 9名 （内 訳）（内訳）相談員（2）、介護職員（常勤1、非常勤4）、看護職員（常勤1）、准看護職員（非常勤1） （前年増減）-2

2. 予算決算

	H29予算	H29決算	H30予算	H30決算
収入	委託料（指定管理料）	7,822,000	7,822,000	7,822,000
	利用料金収入	62,998,000	51,161,396	62,375,000
	その他収入（受入研修費収入）	1,972,000	285,695	8,337,000
	計	72,792,000	59,269,091	78,534,000
支出	人件費	44,081,000	49,717,461	47,066,000
	光熱水費	2,000,000	2,376,257	2,000,000
	維持管理費（委託料・賃借料）	15,855,000	13,497,846	18,835,000
	修繕費	317,000	588,232	310,000
	事業費	0	0	0
	その他支出（給食費、保健衛生費等）	10,539,000	8,174,009	10,323,000
	計	72,792,000	74,353,805	78,534,000
<b>収支</b>		-15,084,714		-8,770,564

3. 活動指標

	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
開館日数	日	308	312	311	310
定員	人	30	35	30	30

4. 成果指標

	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
利用率	%	81	81.1	72.3	73.8
利用者数	人	7,900	8,857	6,741	6,862

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

入浴の希望が多いため、1日の入浴利用者枠を増やす等、利用者のニーズに積極的に対応した結果、利用者数が増となり利用率が上がった。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令遵守、事業計画書の提出、適切に運営されている。区への報告や連絡も迅速に行われ、区の施設のデイサービス事業者として、適正な管理運営がなされている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	介護保険施設への行事案内送付等の広報活動や、利用者アンケートに寄せられた希望に沿った取組みを継続しており、30年度は利用者数が増加した。また、ボランティア活動の積極的な受け入れも継続しており、昨年度から引き続き多くの参加者数を受け入れている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	建物や設備の維持管理は業者に委託し、適切に行われている。職員による日常の点検により異常箇所の早期発見、対応に努めている。30年度は光熱水費の経費が増となったことから、より一層の省エネに対する取組みも必要である。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	併設の老人福祉センターで行われるコンサートへの参加等、複合施設の特性を生かした多様なレクリエーションも提供しており、サービス向上に継続的に取り組んでいる。また希望者の多い入浴利用者枠の拡大等も実施し、効果を上げている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	前年度と比較して、利用者数増により利用料金収入増となったが、委託料等の経費も増加している。高いサービス水準を維持しつつ、より一層の効率的運営を継続的に行う必要がある。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 96 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>老人福祉センターのコンサート等にデイサービスの利用者をお連れしたり、入浴利用者枠を拡大する等、一層のサービス向上に努めている。またボランティアの積極的な受け入れも継続している。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>収支の状況は昨年度よりやや改善されているものの、省エネ等に配慮し、より一層の効率的運営に努めることが望ましい。</p>